



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年10月31日

上場取引所 東名

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <http://www.yutakafoods.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長

(氏名) 岸本 一人

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,585	5.9	427	△22.4	489	△18.8	333	△22.0
29年3月期第2四半期	9,999	△3.1	551	△16.0	603	△15.0	426	△9.6

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第2四半期	47.93	—	—	—
29年3月期第2四半期	61.42	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
30年3月期第2四半期	21,911	—	18,727	—	85.5	2,695.17
29年3月期	21,443	—	18,195	—	84.9	2,618.51

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 18,727百万円 29年3月期 18,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
29年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
30年3月期	—	20.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	22,000	7.6	1,200	19.1	1,300	15.7	900	25.6	129.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,832,311 株	29年3月期	8,832,311 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,883,705 株	29年3月期	1,883,645 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	6,948,622 株	29年3月期2Q	6,948,783 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種政策の効果等によりアベノミクス景気が戦後2番目の長さに迫るなど緩やかな回復が続いており、企業業績・雇用環境は改善の傾向が見られるものの、社会保障費負担の増加等に伴う家計の負担増により景気回復の実感なき経済成長となっております。また、米国新政権の政策実行力への懸念や英国のEU離脱問題の再燃や世界各地の地政学的リスクの増大等により世界経済に与える不安心理が増大し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は10,585百万円（前年同期比5.9%増）となりましたが、人件費や減価償却費を始め諸経費の増加により、営業利益は427百万円（前年同期比22.4%減）、経常利益は489百万円（前年同期比18.8%減）、四半期純利益は333百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

セグメント別では、液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は2,132百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は276百万円（前年同期比54.5%増）となりました。

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は2,217百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は9百万円（前年同期比76.2%減）となりました。

チルド食品部門は、昨年12月末にて製造を終了したゆで麺の影響により、売上高は1,561百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント利益は185百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

即席麺部門は、3月にラインを増設したことにより、売上高は3,920百万円（前年同期比16.1%増）となりましたが、新ラインの増設に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失（営業損失）58百万円（前年同期は129百万円のセグメント利益）となりました。

その他は、水産物の取扱いの減少に伴い、売上高は753百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

第2四半期会計期間末における資産の部は21,911百万円となり、前事業年度末と比べ468百万円増加しました。これは主に、固定資産において機械及び装置（純額）が482百万円、投資有価証券が484百万円増加し、流動資産において現金及び預金が403百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,184百万円となり、前事業年度末と比べ63百万円減少しました。これは主に、その他の流動負債が316百万円減少し、繰延税金負債が138百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は18,727百万円となり、前事業年度末と比べ532百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が338百万円、利益剰余金が194百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は5,460百万円となり、前年同期と比べ395百万円（6.8%）の減少となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は742百万円となり、前年同期と比べ192百万円（35.1%）の増加となりました。主な要因は、税引前四半期純利益480百万円、減価償却費326百万円による資金の増加とたな卸資産の増加52百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,066百万円となり、前年同期と比べ1,129百万円（51.4%）の減少となりました。なお、投資活動による主な支出は、有形固定資産の取得による支出1,001百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.1%）の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,148	5,744
売掛金	2,027	2,016
商品及び製品	381	425
仕掛品	26	25
原材料及び貯蔵品	264	274
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	113	129
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	14,454	14,109
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,776	1,909
機械及び装置（純額）	1,363	1,846
その他（純額）	1,506	1,246
有形固定資産合計	4,646	5,001
無形固定資産	32	24
投資その他の資産		
投資有価証券	2,006	2,490
その他	303	285
投資その他の資産合計	2,309	2,776
固定資産合計	6,988	7,802
資産合計	21,443	21,911

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成29年 3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,360	1,372
未払法人税等	85	179
賞与引当金	183	191
役員賞与引当金	15	2
その他	835	519
流動負債合計	2,480	2,263
固定負債		
繰延税金負債	87	225
退職給付引当金	648	683
役員退職慰労引当金	32	11
固定負債合計	767	920
負債合計	3,248	3,184
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	18,652	18,846
自己株式	△3,456	△3,456
株主資本合計	17,517	17,711
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	677	1,016
評価・換算差額等合計	677	1,016
純資産合計	18,195	18,727
負債純資産合計	21,443	21,911

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	9,999	10,585
売上原価	8,919	9,608
売上総利益	1,079	976
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	150	170
賞与引当金繰入額	24	27
役員賞与引当金繰入額	10	2
退職給付費用	15	18
役員退職慰労引当金繰入額	2	1
貸倒引当金繰入額	1	—
その他	322	328
販売費及び一般管理費合計	528	549
営業利益	551	427
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	35	33
雑収入	27	21
営業外収益合計	73	66
営業外費用		
賃貸費用	3	3
たな卸資産廃棄損	18	—
雑支出	0	0
営業外費用合計	21	4
経常利益	603	489
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	5	7
固定資産撤去費用	—	1
特別損失合計	5	8
税引前四半期純利益	597	480
法人税、住民税及び事業税	188	157
法人税等調整額	△17	△10
法人税等合計	170	147
四半期純利益	426	333

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	597	480
減価償却費	271	326
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△13
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	53	35
前払年金費用の増減額 (△は増加)	5	7
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△30	△20
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	6
有形固定資産除却損	5	1
有形固定資産撤去費用	—	1
受取利息及び受取配当金	△46	△45
売上債権の増減額 (△は増加)	77	10
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△22	△52
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45	11
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△27	△17
長期前払費用の増減額 (△は増加)	5	5
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△2	0
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△28	8
小計	815	753
利息及び配当金の受取額	45	45
法人税等の支払額	△312	△56
営業活動によるキャッシュ・フロー	549	742
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△236	△199
定期預金の払戻による収入	196	139
有形固定資産の取得による支出	△158	△1,001
有形固定資産の売却による収入	—	6
有形固定資産の除却による支出	—	△15
無形固定資産の取得による支出	△3	—
貸付けによる支出	△2,000	—
その他の支出	△0	△1
その他の収入	7	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,195	△1,066
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,785	△463
現金及び現金同等物の期首残高	7,641	5,924
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,856	5,460

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,915	2,234	1,709	3,377	9,237	762	9,999
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,915	2,234	1,709	3,377	9,237	762	9,999
セグメント利益	179	41	187	129	538	13	551

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体調味 食品	粉粒体食品	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,132	2,217	1,561	3,920	9,832	753	10,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,132	2,217	1,561	3,920	9,832	753	10,585
セグメント利益又は損失(△)	276	9	185	△58	412	14	427

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品(冷凍魚ほか)であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。